

有機農畜産物の生産者の情熱を報道関係者等につなぐ

有機農畜産物の生産と消費拡大を促すため、持続可能な土づくり等に取り組む生産者を訪問する現地視察会「知ってほしいだけなんだ！～あの人の土づくり、そして放牧酪農～」を開催。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景・課題の把握

有機農業の取組面積拡大には、有機農産物に対する消費者の理解醸成を行い、需要を喚起することが重要。このため、広く情報提供を行うことを目的に、報道関係者等を対象とした貸切バスによる現地視察を企画。

○ 取組の内容

報道機関（雑誌ライター含む）、大学教授、高校教諭、金融機関、観光事業者、行政機関職員24名の参加を得て、有機農業で小麦や大豆などを生産する畑作農家2戸と放牧酪農を実践する酪農家を視察。さらに視察先農家の有機小麦を原料に用いたパン販売店も視察し、消費行動までを意識した内容とした。

また、視察の題目を「知ってほしいだけなんだ！～あの人の土づくり、そして放牧酪農」とし、とにかく知ってほしい、伝えてほしいという気持ちが前面に伝わるよう工夫。

○ 効果・成果、今後の方向性

開催後、新聞2社、雑誌2稿、Webメディア1件に記事が掲載された。特に地元新聞では、大きく取り上げられたほか、これを契機に有機農業についての連載が開始されるなど、本取組によって、多くの消費者に情報を届けることができた。

引き続き、報道関係者等と接点を持ち、農業への関心を高めてもらうとともに、消費者への情報発信につなげていく。



有機栽培に関する意見交換



有機小麦を原料にしたパン店視察



大豆収穫前に播種されて成長した秋まき小麦の生育の説明



山麓地帯にある放牧地で生産者と意見交換

体制図

